

栄区感染症だより Vol.4

新型コロナウイルス感染症が5類となりました

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が類型変更されたことに伴い、保健所への報告基準が変わります。保健所への報告基準・報告様式、発生時の対応の流れについては〈別紙1・2〉をご確認ください。

保健所への報告基準に当てはまらなくても、感染症対策（PPE装着、ゾーニング対応など）については、引き続き保健所にご相談いただけます。また、重症化を防ぐために提携医療機関等と連携しご対応いただくようお願いいたします。

エアロゾル感染・飛沫感染の対策が重要！

神奈川県が発行している「新型コロナウイルス感染症 高齢者福祉施設における対応の手引き」から効果的な感染症対策を抜粋してご紹介します。



↑新型コロナウイルス感染症
高齢者福祉施設に
おける対応の手引き
(2023年5月12日第5版)

OK エアロゾル感染・飛沫感染の対策 が重要！ (P.10,17)

- ◆ 患者等を直接ケアするスタッフは不織布製マスク以上のエアロゾル防止効果のあるマスクの着用が推奨されています！
- ◆ 環境消毒よりも手指衛生を行うことで感染リスクが低くなります！
→環境消毒は1日1回程度の通常清掃を行いましょう。※頻回な環境消毒は原則不要

OK エアロゾル対策として **換気** は有効！ (P.6,7)

→機械換気による常時換気を！機械換気が無い場合は、換気が不十分な状態で人が密集するような場所(更衣室・休憩室)での感染に注意が必要です。2方向で換気を行いましょう！

NG **不要な感染対策** (P.17)

- ◆ 次亜塩素酸水*の使用⇒消毒効果は限定的
※次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムは別のものです。
次亜塩素酸ナトリウム(キッチン用漂白剤)は環境消毒に効果的です。
- ◆ 足の消毒、シューズカバー、ヘアキャップ、二重手袋
⇒感染予防効果は認められていないため不要
- ◆ N95 マスクが汚れることを嫌い、サージカルマスクの上からN95 マスクを着用
⇒隙間ができるのでNG!
- ◆ N95 マスクをアルコールで消毒
⇒静電気でウイルスを吸着するので、効果が大幅低下!

